



路上の子どもたちと出会う in メキシコシティ



写真提供：工藤律子さん

世界で最も格差の激しい地域とも言われるラテンアメリカの新興国メキシコの首都メキシコシティ。1990年からこの街の路上に暮らす子ども・若者と関わり続けるジャーナリストが、彼らとの出会いを通して、何を感じ、どんな行動を起こし、日本の若者たちに何を伝えているのかを、語る。

くどう りつこ

工藤 律子さん

ジャーナリスト

NGO「ストリートチルドレンを考える会」共同代表



1963年、大阪府生まれ。ジャーナリスト。

東京外国語大学大学院地域研究研究科修士課程在籍中より、メキシコの貧困層の生活改善運動を研究しながら、ジャーナリストとしての活動を始める。主なフィールドはスペイン語圏。著書に『仲間と誇りと夢と』（JULA 出版局）、『ストリートチルドレン』（岩波ジュニア新書）、『ルポ つながりの経済を創る スペイン発「もうひとつの世界」への道』（岩波書店）、『マラス 暴力に支配される少年たち』（集英社。第14回開高健ノンフィクション賞受賞）、『働くことの小さな革命 ルポ 日本の「社会的連帯経済」』（集英社新書）など、多数。ボランティアのみで運営するNGO「ストリートチルドレンを考える会」の共同代表でもある。

6月19日（木） 5限 16:00～17:30

対象：東京外国語大学 学生のみなさん
（@tufs.ac.jp のアドレスが必要）

場所：研究講義棟205

ハイフレックス形式で開催！

申込締切：6月19日（木）12:00

申込：<https://forms.gle/eXLRhZ9oA3XbwFKX9>

＊当日参加もOKです！（定員に達した場合は事前申込者を優先します）

